

静岡地区講習会報告

第1回地区講習会

- ①日時 令和7年 4月24日(木) 9:30~16:00
- ②場所 南部生涯学習センター
- ③講習内容 講演①「静言研について」
講演者 静言研事務局長 青木 教美 氏
- 講演②「通級指導教室担当の心得」
講演者 じゃんけんぽん 夏目 哲也 氏
- 講演③「言語の成り立ちと言語障害」
講演者 言語聴覚士 北野 市子 氏
- 講演④「発達障害通級における具体的な指導内容」
講演者 じゃんけんぽん 夏目 哲也 氏

〈講習内容と感想〉

講話①では、静言研の発足の経緯や活動について知ることができた。また、通級担当者として児童・保護者・学校とどのように連携するべきかについても学ぶことができた。

講話②では、児童・保護者に寄り添う大切さを教えていただいた。これからも相手の気持ちに寄り添う言葉、理解する言葉を磨き、児童・保護者が前向きな気持ちで生活できるよう努力していきたい。

講話③では、言語の成り立ちや恣意性、脳のつくり、音韻、拗音指導などについて話をしていただいた。ことばがどのようにしてアウトプットされるのか、ことばをどのように獲得していくのかを学ぶことができた。

講話④では、様々な教具・教材を実演しながら紹介していただいた。そして、高額な物だけでなく、身の回りにある物が児童の様々な力を伸ばすための教材・教具になることを学ばせていただいた。今後の指導でもアンテナを高くもち、児童が楽しみながら活動に取り組むことができる教材・教具の研究を続けていきたい。

第2回地区講習会

- ①日時 令和7年 6月17日(木) 13:00~16:00
令和7年 9月18日(木) 13:00~16:00
- ②場所 静岡市南部生涯学習センター
静岡市立清水三保第二小学校
- ③講習内容 講演「構音障害の基礎」「構音障害の実際」
講演者 言語聴覚士 北野 市子 氏

〈講習内容と感想〉

講話①では、構音障害の基礎について学んだ。どのようにして構音障害が起こるのか口腔内や構音位置などを詳しく教えていただいた。また、音からどのように構音しているのか原因を探ったり、構音点と構音方法を考えながらどうすれば音が正しく出るのかを教えていただいたりした。

講話②では、実際に音を聞いてどのように指導をすればよいか、音を正しく出すにはどんな方法があるのかを聞き、グループに分かれて方法を模索し実際にやってみることで、具体的な構音ポイントや指導のコツをつかむことができた。これからも音が置換している児童や音が出なくて困っている児童の気持ちに寄り添い構音障害と一緒に向き合うエネルギーを充電できたように感じた。

第3回地区講習会

- ①日時 令和7年7月29日(水) 14:00~16:30
- ②場所 静岡市東部生涯学習センター
- ③講習内容 講演 「通級による指導にこれから期待されること」
講演者 常葉大学教育学部 特任教授 笹森 洋樹 氏

〈講話内容と感想〉

通級担当者がこれから求められていく役割はなにか考えることができた。通級担当者の役割は、子どもの特性に応じて適応改善できるよう指導することだけでなく、保護者支援、学校や関係機関との連携など、子どもを支える支援の場を整えていくことだと分かった。また指導内容については、子ども自身が何を学びたいかを考えて、見通しをもって、取り組むことのできる体制を作っていくことが必要だと教えていただいた。子どもが参画する個別の指導計画の作成や、通級校を自校か他校かを選択制にすることなど、具体的な紹介もあった。今後も、通級担当者として子どもの思いを尊重し、目標に向かって伴走する存在になれるよう学び続けていきたい。

第4回地区講習会 1

① 日時 令和7年 8月 6日(水) 9:30~11:30

② 場所 静岡市特別支援教育センター1F 大会議室

③ 講演内容 講演 「学びの特性から考える幼小の接続
~Spring から見えてきたもの~」

講演者 常葉大学 保育学部 准教授 赤塚 めぐみ 氏

〈講演内容と感想〉

赤塚めぐみ先生は、常葉大学保育学部准教授として、教壇に立たれている一方で、静岡市の教育相談顧問を務めるなど、多岐にわたりご活躍なさっている。現場での実践やプロジェクト発足や発信活動、相談活動に取り組んでいる姿から、「支援」と一言と言っても、関わり方は多様であることを改めて感じた。今回の研修では、幼小期の学びや音韻認識や意識といったテーマを軸に話が進んだ。音韻認識を高める活動として、手遊びが有効であるということを知り、これからは、指導の中に、積極的に取り入れていきたいと思った。また、先生が取り組まれている「Spring プロジェクト」は大変興味深く、既に実践している園などからの報告が公開されるとのことで、非常に楽しみにしている。今後の指導の中で、今回学んだことをどのように活かしていくかが大切だと改めて感じた。日々、子どもたちと関わる中で、小さな気づきを見逃さず、学び続ける姿勢を忘れないようにしたい。

第5回地区講習会

①日時 令和7年 8月28日(木) 13:30~16:00

②場所 静岡県総合社会福祉会館シズウエル

③講習内容 講演「吃音児に対する指導方法」

講演者 日本吃音臨床研究会 会長 伊藤 伸二 氏

〈講演内容と感想〉

伊藤先生は、以前静岡市で吃音児やその保護者を対象とした吃音キャンプを開催して下さっていたことがあり、静岡市の通級担当に多くの学びを与えて下さってきた。今回の講演でも、吃音の当事者としてのご自身の歩みや思いを語りながら、周りにいる大人として何ができるかのご示唆を与えていただいた。吃音を受け入れるまでに多くの時間を要したことや、吃音ではなく内容を重要視して会話を聞いてくれたことで救われた経験は大変参考になった。困難を避けるために行う配慮ではなく、子どもが傷つくことを恐れずに子どもの回復力を信じて関わっていくことの大切さを学んだ。